

六月二十二日

朝九時いきなり電機屋が来て地下で打ち合わせ。その後、地下に入っていた前橋の左官森田君と打ち合わせ。昼前、研究室へ。十四時、眞壁氏他来室。子供に贈る家の本業書の件。良い企画だと思つが、売れるのかな。うまくゆく事を祈る。十五時M1ゼミ。世界の住宅価格比較研究。ようやく入口に入った。山田脩二曰く、六〇代を生きているのは実にしんどい。確かにそうだが、この、しんどさあつての、又、ものだから仕方ない。人をはげましているゆりの持ち合わせが、こちらにもない。自分の事で精一杯だ。

六月二十三日

六時半起床。渡辺豊和氏より「扶桑国王蘇我一族の眞実」新人物往来社、送られて来た。三五〇ページの分厚い本である。何故か嬉しかった。渡辺さんは今六十六才の筈である。良く頑張っているな。一時期変な方向へ行つてしまつたなと思つた事もあつたが、変な方向へ行つても、コレだけやれば立派なものである。独人、コーヒーで遠い奈良にいるだろう渡辺さんに乾杯する。非常に嬉しい。大したもんだよ。夜、電話してみよう。まだ渡辺さんはエネルギーを残しているな。負けていらぬぞ、これは。九時厚生館現場。八大西山社長と会う。近藤理事長を交え、打合わせ。十一時修了。明日、屋根の上の鉄のオブジェ現場搬入との事。昼過、研究室。サンドイッチとミルクの昼食。何故か、このメニユ

ーが定番になりつつある。ヤバイぜこれは。サンドイッチとミルクではどうにも余剰の力はでないよね。十三時、松尾建設、来室。十四時過大学発五反田へ。十五時過TOC、トモコーポレーション。十七時半迄。十八時五反田で松尾建設スタッフと飲む。早稲田バウハウス・スクールの生徒であつた松尾建設権藤設計本部長も交えて、建設会社の将来について話しを繰り広げる。良い建物が建つ可能性があるんだつたら何でもするぞ。いささか附合いで、それでもビールをすすつた。二〇時過、新宿で松尾建設スタッフと別れ、只今、二〇時半、京王線車中。

六月二十四日

七時起床。昨夜は電話で渡辺豊和さんと話した。お元氣そうにしておられた。でもネエ、やっぱり建築建てたいんだよ、が本音だろう。八時三〇分杏林病院。病院は面白い。待つ人、行く人、帰る人、それぞれに何らかの弱点を持ち、悩んでもいるのだろう。人間の顔付がきちんと大人なのである。街を歩く、ゆるんだ人々の顔付と微妙に異なっている。私の顔もそう見られているかも知れない。病院は劇場だな。夕方より、劇場へ。十六時東銀座歌舞伎座。六月市川海老蔵襲名披露公演。家族全員で楽しむ。吉右衛門、玉三郎、勘九郎、菊五郎、海老蔵のオールスターキャストである。二十二時半頃世田谷村に戻る。

六月二十五日

十時半松下電工、九州忍田邸オール電化ハウスの打ち合わせ。十三時森の学校内部打合わせ。十六時京王線稲田堤厚生館現場。近藤理事長を交えて打ち合わせ。

六月二十六日

九時四十五分新宿集合。十一時取手駅佐藤さんと会い、利根町百人スクールへ。昼食は利根町オバさん軍団の心尽しの家庭料理。お世辞ではなく美味だった。シソの葉を巻き込んだウリのつけものは特にうまかった。十四時文間小学校で第六回目位だったかな百人スクール開催。農業について私の私的な歴史を述べ、友岡清秀の笑う農園の提案。深沢七郎のラブミー農場を想い起すが、まだまだ彼の年ではあのチョツと恐い軽みには達せないよな。佐藤さん宅で、馬場昭道和尚にも会えて良かった。昭道和尚にはチョツと佐藤健の話し振りが乗り移ってきたような気がする。そう言えば佐藤健の奴、深沢七郎の形見のギターを俺にくれると言っていたのに、くれないまんまで、いなくなつたな。山手線で少々トラブルがあつたらしく、電車が遅れたが、二十時過世田谷村に戻る。つかれて、食後すぐ寝た。利根町百人スクールは私の中では無駄の中の無駄、しかし、こういう実に普通な人達との附合いの無駄から生まれるだろうモノは本物だろう。